

Busica Porter (Busica for iPhone 向けPCツール) 操作マニュアル

Ver 1.2向け 10/06/09改訂版

はじめに

本書はBusica Porterの操作に関してご説明致します。

免責・注意事項

※「Busica Porter」はiPhone / iPod touch 向けアプリ「Busica for iPhone(有償)」ご利用ユーザー様向けツールとなります。「Busica for iPhone(有償)」を利用されていないユーザー様は「Busica Porter」をご使用頂くことは出来ません。予めご了承ください。

※本書は2010年6月時点での仕様、画面構成にて記載している為、最新の画面と表記や機能が異なる場合があります。その際は最新の画面を優先にお読みください。

※株式会社エンジョブリンクは本書記載事項により発生する全てに事象に対する補償は一切行っておりません。

目次

A アプリケーションのインストール	...	P2	E メモレコードの登録	...	P9
-1 アプリケーションの入手先	...	P2	-1 メモ登録	...	P9
-2 アプリケーションのダウンロード	...	P2	-2 登録アカウントの選択	...	P9
-3 圧縮ファイルの解凍	...	P2	-3 メモ内容の入力	...	P9
-4 インストールの実行	...	P3	F 名刺の検索利活用	...	P10
-5 インストール先の指定	...	P3	-1 名刺の検索	...	P10
-6 プログラム名の登録	...	P3	-2 対象アカウントの選択	...	P10
-7 インストール内容の確認	...	P3	-3 検索画面の説明	...	P10
-8 インストールの完了	...	P3	-4 検索キーの入力	...	P11
B アプリケーションの起動とユーザー設定	...	P4	-5 一覧エリアの活用	...	P11
-1 アプリケーションの起動	...	P4	-6 名刺表示エリアの活用	...	P12
-2 ユーザー登録	...	P4	-7 その他機能	...	P12
-3 アカウント登録	...	P4	-8 重複メンテナンス	...	P13
C 名刺データインポート	...	P5	-9 置換メンテナンス	...	P13
-1 インポートファイルの選択	...	P5	-10 名刺のエクスポート	...	P14
-2 インポート項目の並び替え手順	...	P5	-11 名刺印刷	...	P14
-3 インポート先のアカウント選択	...	P6	G 名刺の検索利活用	...	P15
-4 インポート処理	...	P6	-1 データ同期	...	P16
-5 インポート完了	...	P6	-2 同期中の画面と注意事項	...	P16
-6 インポートの際のご注意事項	...	P6	-3 同期中の完了	...	P16
D 名刺レコードの登録	...	P7	H バージョン情報の確認	...	P17
-1 名刺登録	...	P7	-1 バージョン情報	...	P17
-2 項目内容の登録	...	P7	I アプリケーションのアンインストール	...	P17
-3 項目の切り替え	...	P7	-1 アンインストール方法	...	P17
-4 電話、メール、URLの登録	...	P7	J 補足資料(インポートデータ活用)	...	P18
-5 グループの登録	...	P8	-1 インポートデータの項目順	...	P18
-6 名刺画像の登録	...	P8	-2 各項目の補足	...	P18
-7 登録の完了	...	P8	-3 主な名刺管理ソフトや 年賀状作成ソフトの活用方法	...	P18

(A) アプリケーションのインストール

-1 アプリケーションの入手先

「Busica Poter」はサポートサイトより無料で配信しています。下記URLにアクセス頂きページ中央部分にある最新Ver.をダウンロードするのボタンをクリックして下さい。

【サポートサイト DLページURL】

<http://www.enjoblink.co.jp/busica/sync/index.html>

※必ずご利用規約や動作環境をご確認の上ご利用下さい。

【ご注意】

古いVer.のBusica Porter及びBusica for iPhoneをご利用の場合、それぞれに適合する組み合わせがございますのでご注意ください。

【適合表】

Busica for iPhone Ver1.0、1.1、1.2 に対応するのはBusica Poter Ver1.0、1.1 となります。

Busica for iPhone Ver1.3に対応するのはBusica Poter Ver1.2 となります。



-2 アプリケーションのダウンロード

ダウンロードボタンをクリックするとセットアッププログラム (Setup.zip) のファイル保存画面が表示されますので任意の場所に「保存」して下さい。

※本書では「デスクトップ」に保存したと仮定致します。



-3 圧縮ファイルの解凍

デスクトップ上に保存したセットアッププログラム (Setup.zip) は zip形式で圧縮されております。まずはじめにSetup.zipのアイコンを選択し右クリックでサブメニューを表示しその中から「解凍」を選択して下さい。

解凍が完了するとデスクトップ上に「Setup」というフォルダとその中に「Setup.exe」というファイルが作成されます。

※「解凍」サブメニューが表示されない場合は圧縮解凍ツールの導入もしくは設定が行われていない可能性があります。その場合は別途、圧縮解凍ツールの導入・設定を行って下さい。



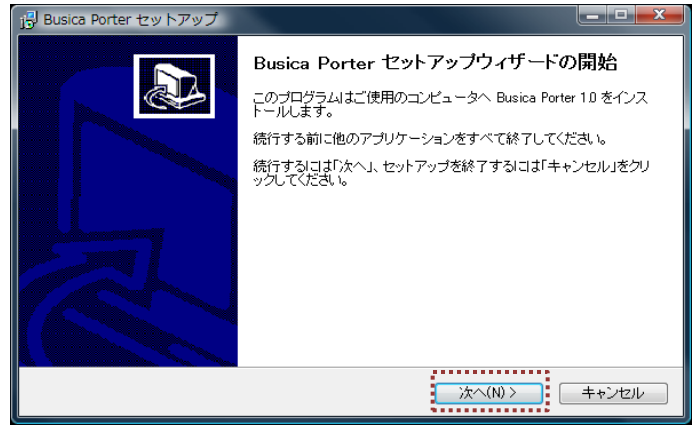
4 インストールの実行

「Setup.exe」をダブルクリックすると「Busica Porter」のセットアップウィザードが実行されます。

セットアップウィザードの流れに沿って進む事でインストールの作業が完了しますので「次へ」をクリックして下さい。

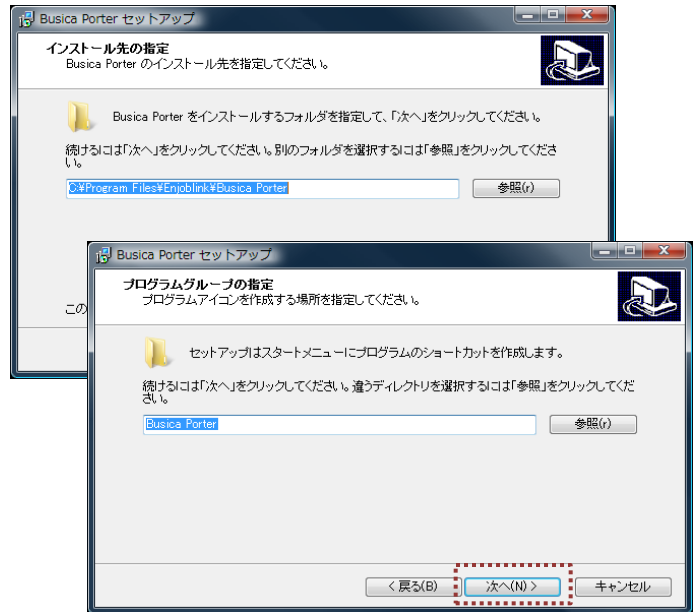
※PCのOSや設定環境によってはセットアップウィザード画面が表示される前に「ユーザーアカウント制御 - 認識出来ないプログラムがこのコンピューターへのアクセスを要求しています」というアラート画面が表示される場合があります。そちらの画面が表示された場合は「許可」を選択する事でセットアップウィザード画面へ遷移する事が可能です。

※旧VerのBusica Porterからバージョンアップする場合はP4で紹介する「常駐アプリ」を終了してからインストールして下さい。バージョンアップを行う事で登録されたレコードはそのまま残りBusica Porterの機能を拡張する事が出来ます。



5 インストール先の指定

「Busica Porter」の保存先を指定します。デフォルト値で C:\Program Files\Enjoblink\Busica Porter が保存先として指定されています。特別な理由で保存先を変更する必要がある場合以外はそのまま「次へ」を選択して下さい。

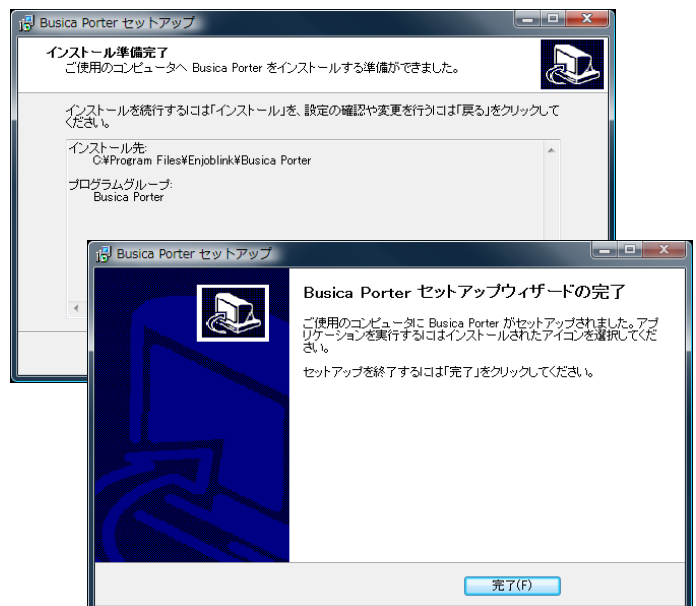


6 プログラム名の登録

スタートメニューやデスクトップ上に表示されるアプリケーションアイコンに表示される名称の登録を行います。デフォルト値として「Busica Porter」の値が入っていますので特に変更が必要でない場合はそのままご使用下さい。

7 インストール内容の確認

インストール内容が確認の為表示されます。内容に問題が無ければそのまま「次へ」を選択して下さい。



8 インストールの完了

セットアップウィザードの完了の画面が表示されるとインストール作業は完了となります。

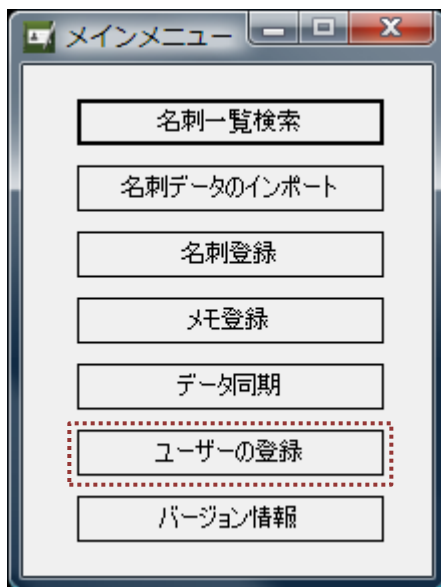
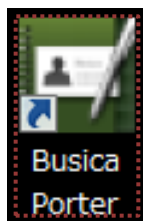
(B) アプリケーションの起動とユーザー設定

-1 アプリケーションの起動

通常「Busica Porter」はWindowsツールバーの右端①に常駐プログラムとして準備されます。

①のアイコンをクリックする事でメインメニュー②が表示されます。尚メインメニューを表示中はWindowsツールバー内の①のアイコンは非表示となります。

※「Busica Porter」を強制終了した場合などはメインメニューを開いていない状態でも①のアイコンが表示されません。その場合はデスクトップ上に作成されたショートカットアイコン③をクリックする事でWindowsツールバー内に①のアイコンを表示する事が出来ます。



-2 ユーザーの登録

「Busica Porter」を使用するにはユーザー設定が必要となります。メインメニュー内の「ユーザー登録」より設定を行います。

-3 アカウントの登録

「ユーザー登録」をクリックすると「アカウント編集」の画面が表示されます。

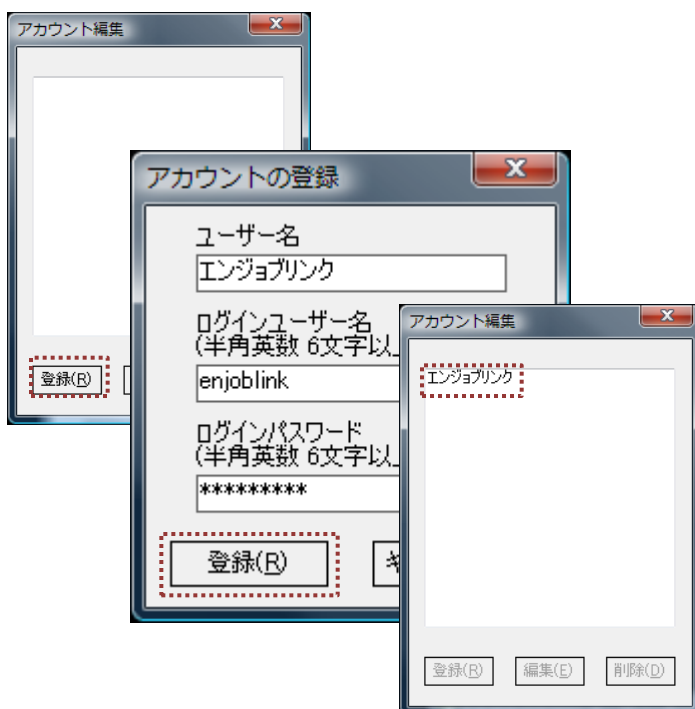
初回は何も登録されておりませんのでそのまま画面下部にある「登録」ボタンより「アカウントの登録」に進んで下さい。

「アカウントの登録」画面では
ユーザー名: ユーザー登録の画面で表示される名称
ログインユーザー名: iPhoneとの通信時に利用するID
ログインパスワード: iPhoneとの通信時に利用するPW

※iPhoneとの通信に使う項目は「Busica for iPhone」の通信・FTP設定項目で設定しているものと同じ値を入力して下さい。

アカウントの登録が完了するとアカウント名が表示されます。登録したアカウント内容の修正が必要な場合はアカウント名を選択した上で画面下部の「編集」ボタンを押す事で登録内容を編集する事が出来ます。

無料配布している「Busica Porter」は個人利用版の為、1人分のアカウント登録しか行う事が出来ません。

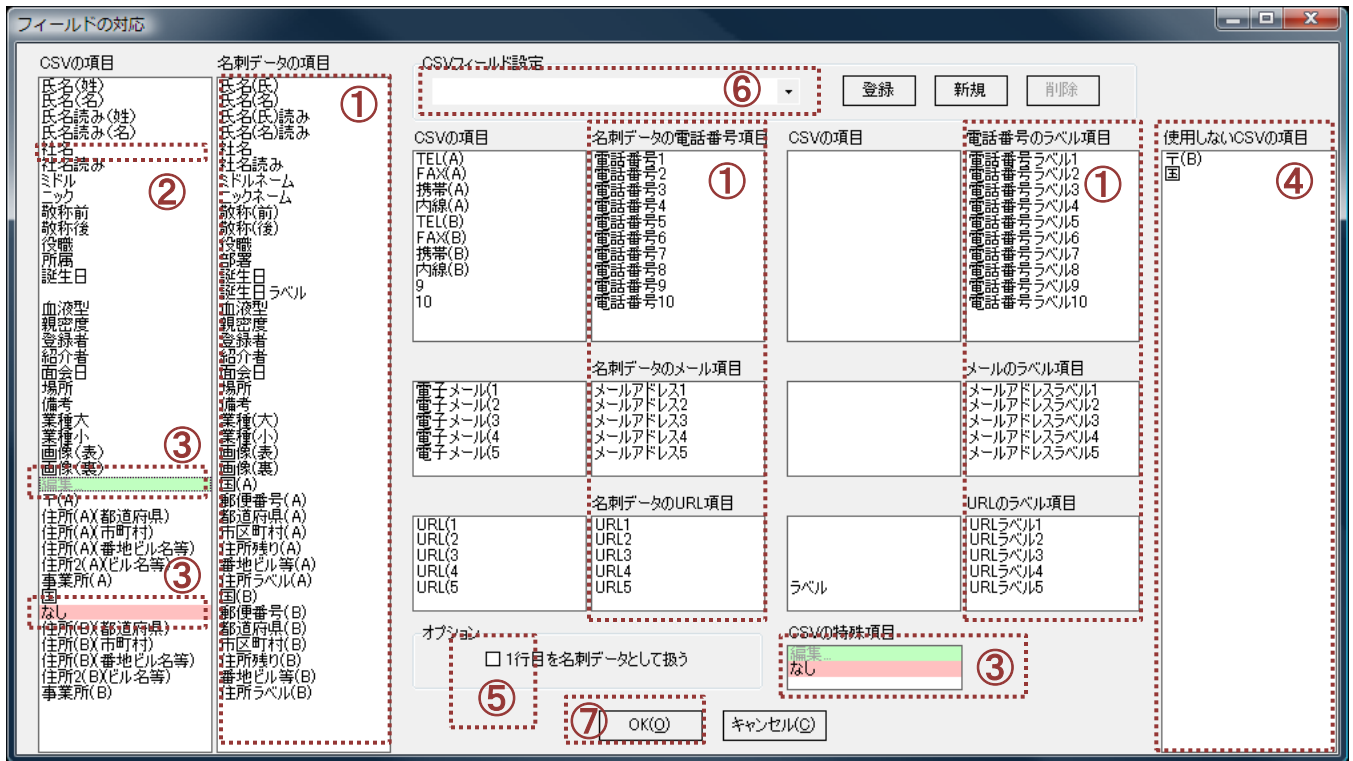
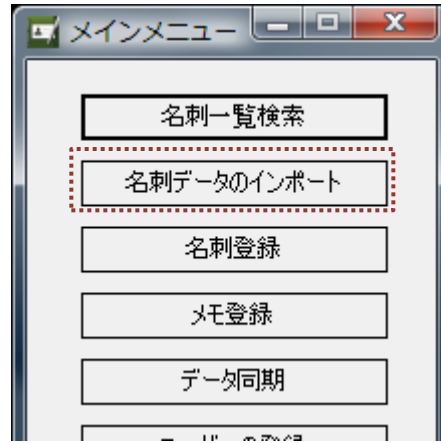


(C) 名刺データインポート

-1 インポートファイルの選択

メインメニュー内の「名刺データのインポート」より既存の名刺管理やハガキ作成アプリやメーカーなどの連絡先情報から抽出した情報を一括取込みする事が出来ます。

- ※取込み可能な形式はcsv形式となります。
- ※csvの項目順は並び変えて取り込む事が出来ます。
- ※テキスト情報と共に名刺画像も一括登録する事が出来ます。
- ※csvファイルの一行目に項目名がはいつていると並び変える際に便利です。
- ※並び変えが不要でそのまま取り込み可能な項目順のサンプルcsvをサポートサイトにご用意していますのでひつような場合はご参照ください。



-2 インポート項目の並び変え手順

■破線①の並びが「Busica Porter」の名刺管理項目の並びとなります。インポートするcsvの項目順をそろえる事でcsvファイルを正しく取り込みする事が出来ます。

■移動させたいインポートcsvの項目は、クリックしそのままドラックする事で順序がスライドします。

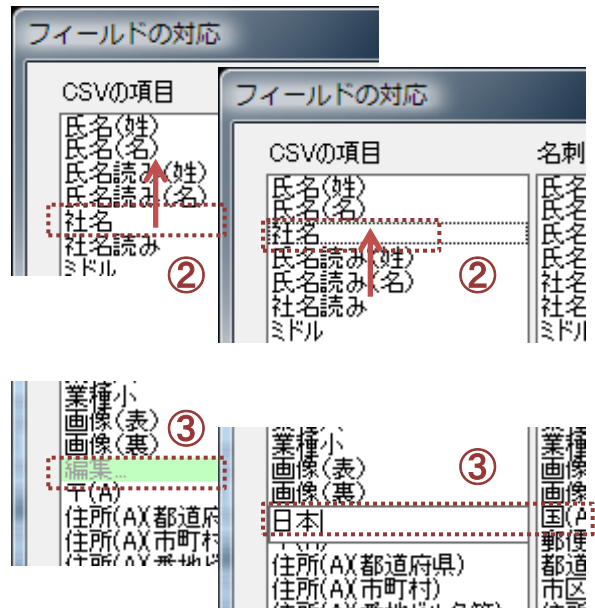
■もしインポートしたcsvファイルに対応する項目が無い場合は、破線③のエリアにある「なし」をcsvの項目順の所にドラックする事で並びを補間する事が出来ます。また、全ての取り込みレコードに対し同じ値を登録したい場合は緑色の「編集」をドラックし入力値を登録して下さい。
※例:右図③参照 この場合は全てのレコードの国に「日本」と言う値は入ります。

■インポートしたcsvの内、取込みを行いたくない項目がある場合は破線④のエリアにドラックする事でインポート対象から外す事が出来ます。

■1行目を名刺データとして扱う場合は⑤のチェックボックスを選択して下さい。

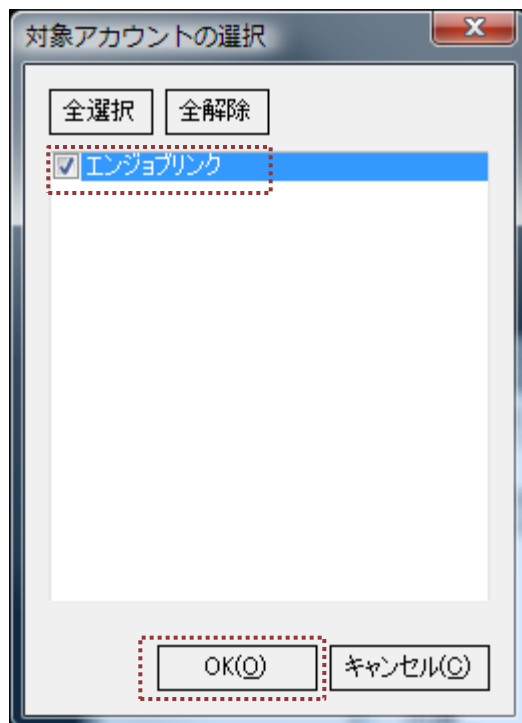
■破線⑥に並び変えるの名称を入力して「登録」をクリックする事で並び変えの定義を保存する事が出来ます。次回同じ並び変えを行う際は▼のプルダウンより並び変え名を選択する事で保存した設定を呼び出し簡単にインポートを行う事が可能となります。

■全ての並び変え作業が完了しましたら⑦の「OK」をクリックして下さい。



-3 インポート先のアカウント選択

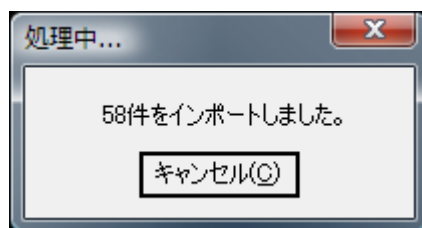
現在「Busica Porter」に登録されているアカウントの一覧が表示されます。
インポート先のアカウントチェックボックスにマークして「OK」をクリックして下さい。



-4 インポート処理

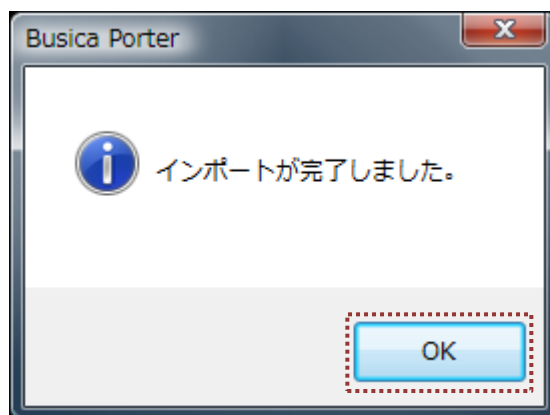
インポートの処理が始まると処置中のウインドウが表示され処理の完了した件数が表示されます。

※表示される件数は処理経過中の値となります。500件のcsvをインポートした場合、490件前後の数字で次の完了画面が表示される場合がありますがこの場合でも500件正常に登録されるのでご安心ください。



-5 インポートの完了

インポートが完了すると完了画面が表示されますので「OK」をクリックして下さい。
完了画面が閉じメインメニューに戻ります。



-6 インポートの際のご注意事項

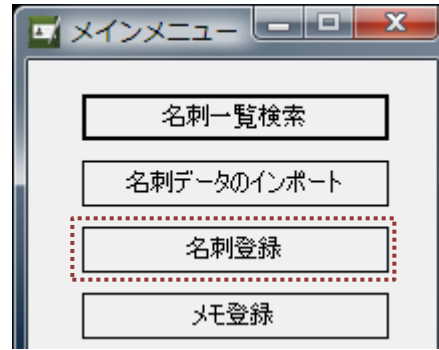
※Busica Porterにインポート出来る名刺レコード件数に対する上限は特に設けておりませんがBusica for iPhone側の登録上限が2000件となる為、Busica Porter側に2000件以上の登録がある場合連携を実行する事が出来ません。その場合名刺登録件数を2000件以下にする必要がありますのでご注意ください。

※Busica Porterでは連携可能件数以上ご利用環境下での問題に関するサポートは出来ませんのでご注意ください。

(D) 名刺レコードの登録

-1 名刺登録

メインメニュー内の「名刺登録」より名刺情報の新規登録が行えます。



-2 項目内容の登録

登録画面より必要情報の登録を行います。
破線①の氏名及び(ふりがな)は必須項目となります。

-3 項目の切り替え

破線②の項目名ボタンをクリックすることで画面下部の登録表示画面nを切り替える事が出来ます。

-4 電話、メール、URLの登録

電話、メール、URLの登録画面は最初の状態では③のように何も表示されていない為追加を行う場合はまず「追加」のボタンをクリックして下さい。

「追加」をクリックすると登録エリアが表示されます。

左側にはそれぞれの項目にあう電話番号(メールアドレス、URL)を入力してください。

右側のラベルは項目名として活用頂けます。▼をクリックする事でデフォルトで登録されているラベル名を活用出来る他、項目に直接入力する事で初期登録されていないラベル名を指定する事も出来ます。

※電話番号は最大10件
※メールアドレスは最大5件
※URLは最大5件
まで登録出来ます。

-5 グループ登録

グループの項目では登録する名刺にグループ属性を付与する事が出来ます。こちらも初期の段階では項目は表示されていませんので「追加」ボタンをクリックし表示されたグループ名1～5を▼のプルダウンで選択して付与する事が出来ます。

※グループ属性は1～5の5種あり、1人の名刺情報に対し1～5全てのグループ属性を付与する事も可能です。

※グループ属性を付与するとグループ単位での名刺表示が行えるようになります。

※グループの名称に関してはBusica for iPhone側で管理しますのでBusica Porterではグループ番号での管理となります。



-6 名刺画像の登録

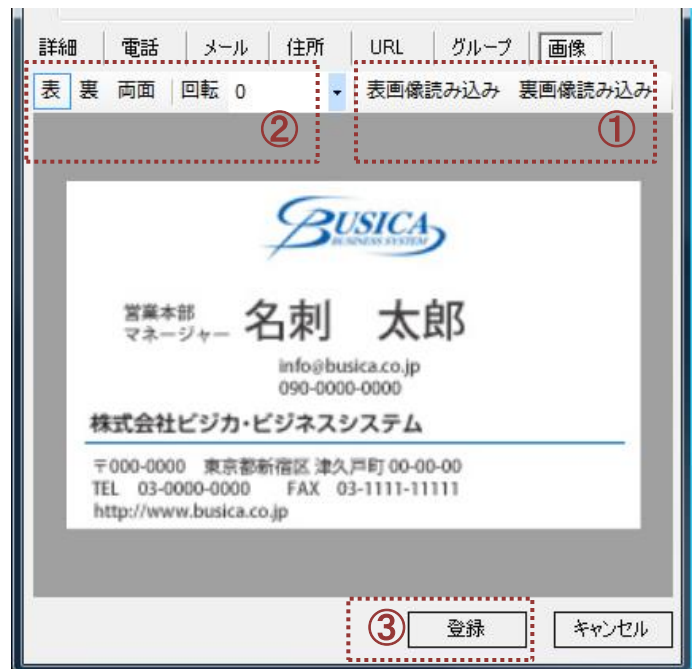
スキャナやデジタルカメラで撮影した名刺画像を登録する事が出来ます。

「表画像読み込み」「裏画像読み込み」①よりそれぞれの画像を登録します。

登録する画像は②のボタンで切り替えて確認表示する事が出来ます。

※登録出来る画像は表裏の2枚となります。

※すでに画像が登録されている状態で画像読み込みを行った場合は以前の画像が削除され上書きされます。

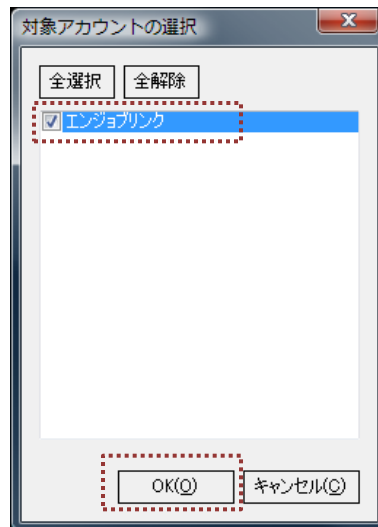


-7 登録の完了

必須項目(名前とふりがな)が入力されていると名刺レコードの「登録」ボタン③が押せるようになります。

「登録」ボタンを押すと名刺レコードの書き込み先アカウント選択画面が表示されます。

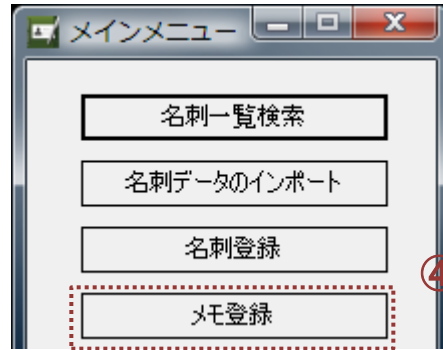
書き込むアカウントのチェックボックスをクリックし画面下の「OK」ボタンをクリックする事で名刺情報の登録が完了しメインメニューに戻ります。



(E) メモレコードの登録

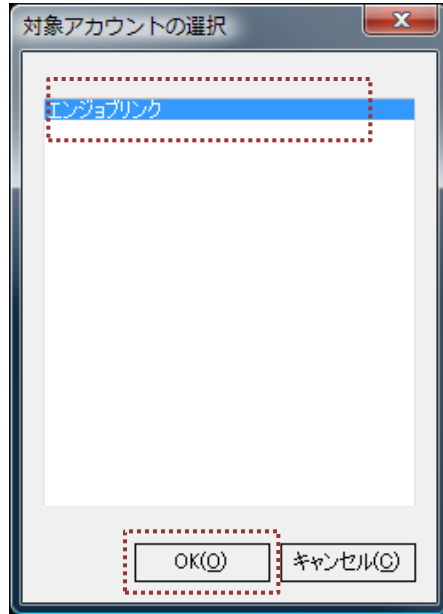
-1 メモ登録

メインメニュー内の「メモ登録」よりメモ情報の新規登録が行えます。



-2 登録アカウントの選択

メモ登録を行うアカウントの選択を行います。



-3 メモ内容の入力

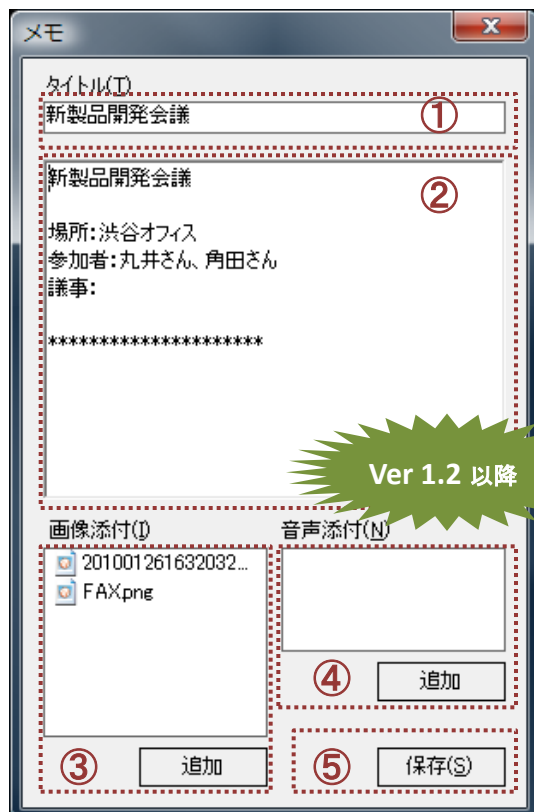
本文②を先に入力すると、本文の最初の行の文字列がそのままタイトル情報①にも自動的に反映されます。もし自動的に反映された値と異なるタイトル名を登録したい場合はタイトルの項目に直接値を入力する事で訂正する事が出来ます。

メモには画像を添付管理する事が出来き、添付した画像はファイル名をクリックする事で閲覧出来ます。③
添付可能な画像形式は「Tiff、Gif、Jpeg、Bmp、Ping」となります。
※Ver1.1以前 取り扱い出来る画像は1枚
※Ver1.2以降 取り扱い出来る画像は6枚

メモには音声添付管理する事が出来き、添付したデータはファイル名をクリックする事で再生出来ます。④
添付可能な画像形式は「mp3、wav、aac、m4a、acc」となります。
※取り扱い出来るファイル数は1枚
※添付された音声ファイルは現時点ではiPhone側で取り扱う事は出来ません。

メモの本文の入力が完了したら画面下部の「保存」ボタンをクリックする事でメモを登録する事が出来ます。

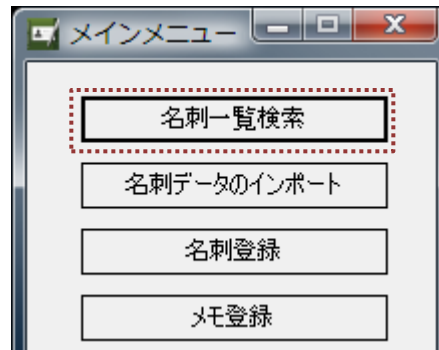
※PCツールではメモと名刺の関連付けは検索画面で行いますのでTOPメニュー内から「メモ登録」を行った場合は関連付け名刺なしの状態でもDBIに登録されます。



(F) 名刺の検索・利活用

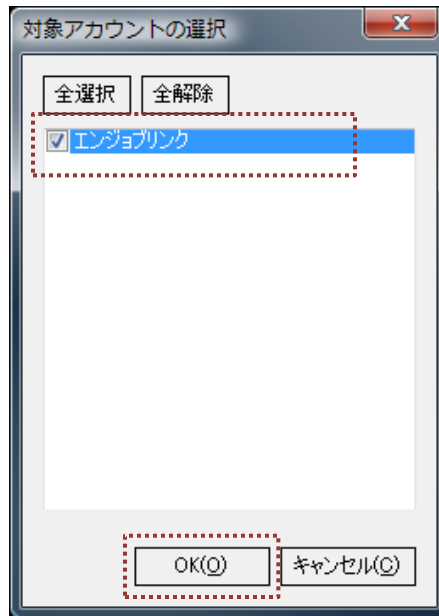
-1 名刺の検索

メインメニュー内の「名刺一覧検索」より登録済名刺情報の検索が行えます。



-2 対象アカウントの選択

アカウント一覧画面より検索を行うアカウントを選択します。

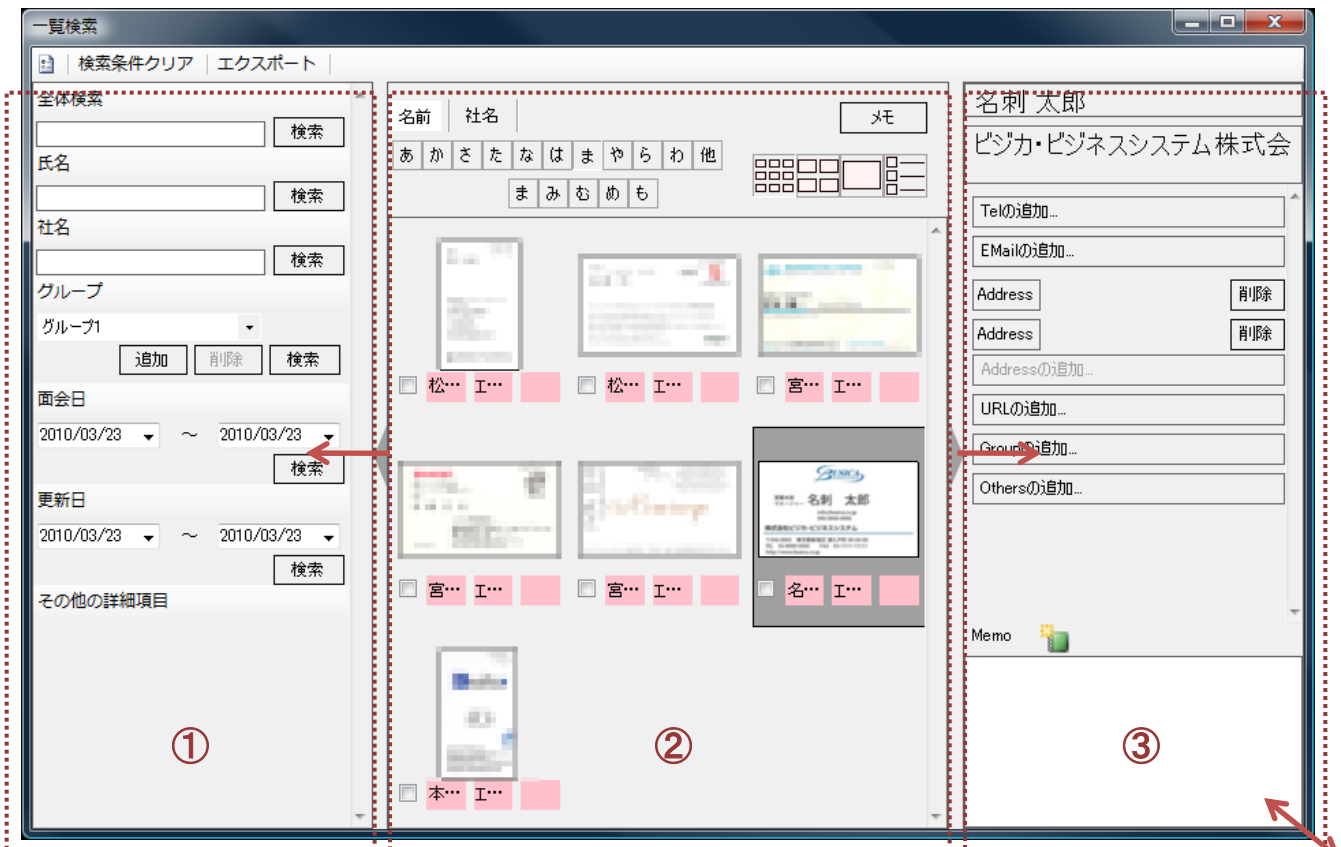


-3 検索画面の説明

- ・画面左側①のエリアは名刺検索キーの入力エリアとなります。
- ・画面中央②のエリアは名刺一覧表示エリアとなります。検索で絞り込んだ名刺情報もこのエリアに表示されます。
- ・画面右側③のエリアは一覧で選択した名刺の詳細情報が表示されます。

※検索画面は画面右下をドラッグする事で画面表示サイズを変更する事が出来ます。

※①③のエリアは境界線をクリックする事で表示エリアを折り畳む事が出来ます。



-4 検索キーの入力

「全体検索」①: 登録されている名刺情報の全項目及びメモ情報を対象に検索キーワードによる絞り込みが行えます。

「項目検索」②: 社名や氏名、グループや日付など、項目を限定して検索を行う事が可能です。

「その他項目検索」③: 通常は非表示になっていますが「その他項目」部分をクリックする事で、名刺管理項目の一覧が表示され目的の項目に検索キーを入力する事が出来ます。

The screenshot shows a search interface with three main sections:

- ① 全体検索 (Overall Search):** A search bar with a '検索' (Search) button.
- ② 項目検索 (Item Search):** Fields for '氏名' (Name), '社名' (Company Name), 'グループ' (Group), '面会日' (Meeting Date), and '更新日' (Update Date), each with a '検索' button.
- ③ その他の詳細項目 (Other Detailed Items):** A list of search criteria including '業種(大)' (Industry), '業種(小)' (Industry), 'TEL', 'メール' (Email), '住所' (Address), '誕生日' (Birthday), '血液型' (Blood Type), '親密度' (Relationship), '部署' (Department), '役職' (Position), '紹介者' (Referrer), '登録者' (Registered User), '場所' (Location), '備考' (Remarks), and 'メモ' (Memo).

-5 一覧エリアの活用

「項目表示切り替え」④: 一覧に表示されている名刺情報を「名前/社名」ベースに切り替えて表示します。

「50音絞り込み」⑤: 一覧に表示されている名刺情報を50音で絞り込む事が出来ます。

「表示形式切り替え」⑥: アイコンをクリックする事で一覧の表示形式を切り替える事が出来ます。
 名刺表示時: 左から「サムネイル多」「サムネイル小」「画像1枚」「テキスト表示」
 メモ表示時: 左から「紐付く名刺をベースにしたメモ一覧」「登録済メモ一覧」

「パラメーター表示」⑦: 名刺一覧表示の際、名刺画像下に表示されるパラメーターは、検索画面左上のアイコンより設定する事が出来ます。

「メモ切り替え」⑧: メモ画面をクリックする事で名刺一覧の表示画面をメモ一覧に切り替える事が出来ます。

The screenshot shows a list view interface with several features:

- ④ 項目表示切り替え:** Buttons for '名前' (Name) and '社名' (Company Name) to switch the list view.
- ⑤ 50音絞り込み:** A 50-syllable filter bar with characters like 'あ', 'か', 'さ', 'た', 'な', 'は', 'ま', 'や', 'ら', 'わ', '他'.
- ⑥ 表示形式切り替え:** A set of icons for switching display formats: 'サムネイル多' (Large thumbnails), 'サムネイル小' (Small thumbnails), '画像1枚' (Image), and 'テキスト表示' (Text).
- ⑦ パラメーター表示:** A 'FindViewOptionForm' dialog box for selecting parameters like 'パラメータA' (Parameter A), 'パラメータB' (Parameter B), and 'パラメータC' (Parameter C).
- ⑧ メモ切り替え:** A 'メモ' (Memo) button to switch to a memo list view.

-6 名刺表示エリアの活用

「名刺情報表示エリア」①: 名刺情報として登録されている項目をクリックする事で編集画面が開き、訂正や追記を行う事が可能です。

「外部アプリ起動」②: 「Email、Address、URL」の項目ボタンをクリックする事で関連するアプリケーションを起動する事が出来ます。

- ・Email : 登録されたメールアドレスを送付先にメーラーを起動
- ・Address : 登録された住所情報に対しGoogleマップ検索
- ・URL : 登録されたURLに対しブラウザを起動

「メモ登録」③: アイコンをクリックする事でその名刺に紐づくメモを新規登録する事が出来ます。

「メモ一覧」④: その人に紐づくメモの一覧が表示されます。メモはタイトルをクリックする事で内容を確認する事が出来ます。またすでに登録済のメモを一覧からドラックする事で新たにメモと名刺を紐付ける事が出来ます。



-7 その他機能

⑤「検索条件クリア」:

「検索条件クリア」ボタンをクリックする事で現在入力している検索条件を廃棄する事が出来ます。
※検索条件をクリアすると一覧には登録されている全ての名刺が表示されます。

⑥「オプション」:

名刺一覧の画面で名刺画像下に表示されるサムネイルパラメーターの表示設定が可能です。
画像下に表示出来る項目は「氏、誕生日、親密度、登録者、紹介者、面会日、更新日、業種(大)、業種(小)、アカウント名」

⑦「編集」:

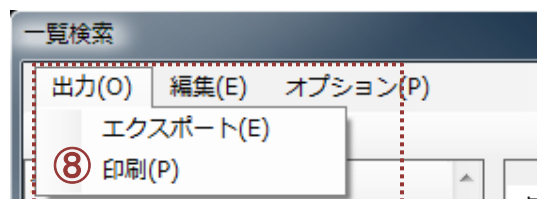
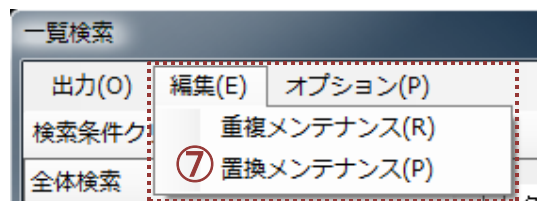
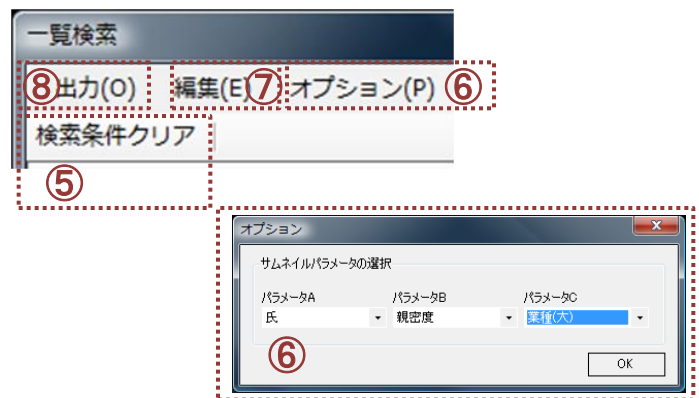
・重複メンテナンス: 氏名が同一のレコードをリストアップしメンテナンスを行います。【詳細次ページにて】

・置換メンテナンス: 指定対象のレコードに対し一括置換を行います。【詳細次ページにて】

⑧「出力」:

・エクスポート: 指定or絞り込みの対象レコードをCSV出力します。【詳細次ページにて】

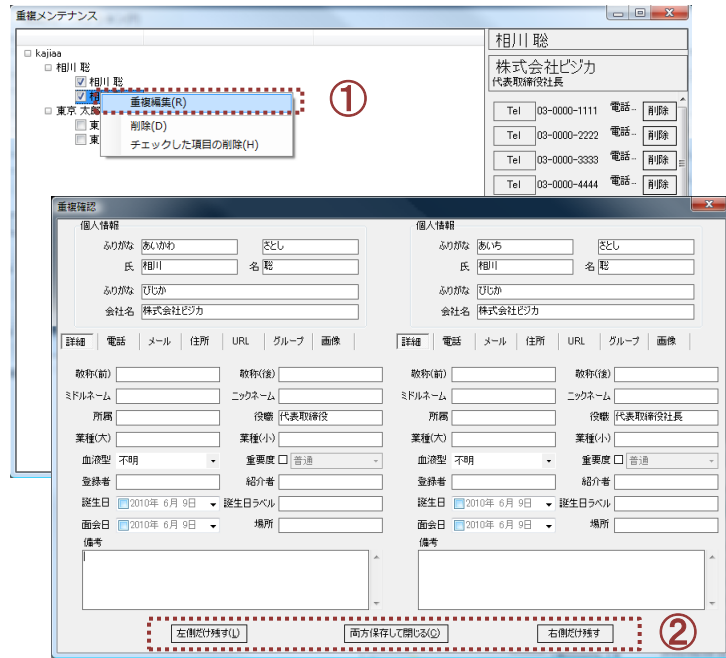
・印刷: 指定or絞り込みの対象レコードを印刷します。
【詳細次ページにて】



-8 重複メンテナンス

登録されている名刺レコードの内「氏、名」の値が同一のものをリストアップします。①
リストアップされたレコードの内、同じ重複レコードの2項目にチェックし右クリックする事で「置換編集」を行う事が出来ます。

置換編集では左右に選択した名刺レコードが表示されるので必要な項目を移し替え画面下部の「左側(右側)だけ残すor両方保存して閉じる」を選択する事で編集内容を保存します。②
※「左側(右側)だけ残す」の選択をした場合、もう一方のレコードは削除されます。

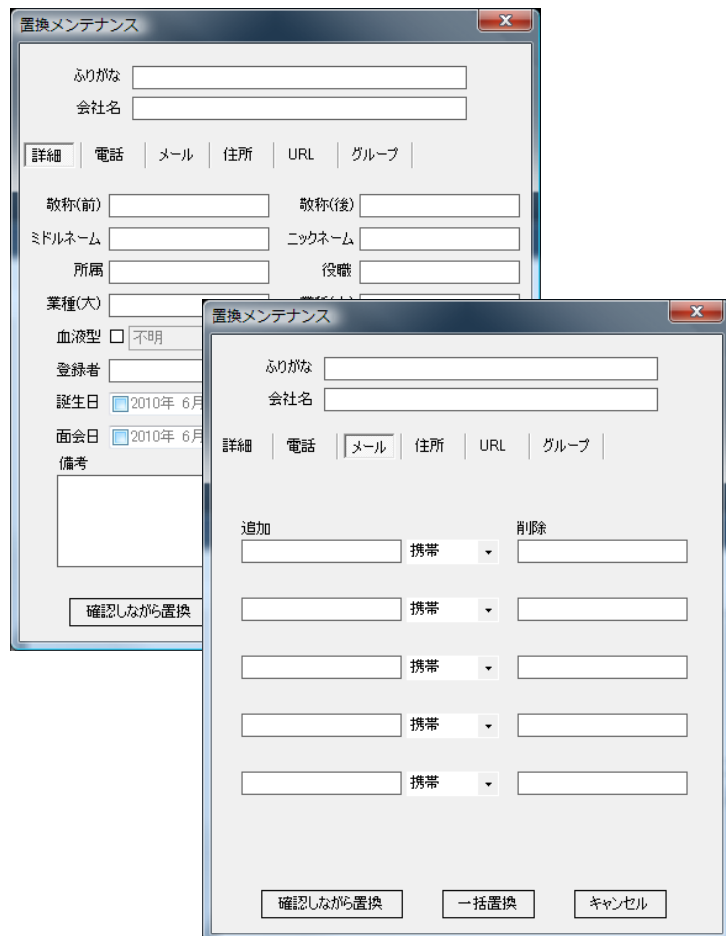


-9 置換メンテナンス

名刺一覧画面でチェック選択されたレコードに対し一括の置換、追記が行えます。
また、置換は確認無しで一括処理する「一括置換」と置換後のレコードを確認しながら処理を行う「確認しながら置換」が選択出来ます。

【置換の仕様】

- ・「名前、電話、メール、URL」以外のレコードに対しては空白の項目に入力した文字が上書きされます。
- ・「電話、メール、URL」は空白の項目に入力されたレコードが空いている項目に追記されます。
- ※追加レコードは上から順に追記され、追記後のレコードが電話10件、メール、URLは5件以上になるレコードは追記されません。
- ・「電話、メール、URL」削除項目に入力をした場合、該当のレコードのみ削除されます。
- ・氏名の置換は行えません。



-10 名刺のエクスポート

選択or絞り込みした名刺レコードをcsv出力します。①
 上部のプルダウンでエクスポート形式の選択、管理が可能です。

出力項目は右側「エクスポートの並び」でカスタマイズする事が出来ます。②

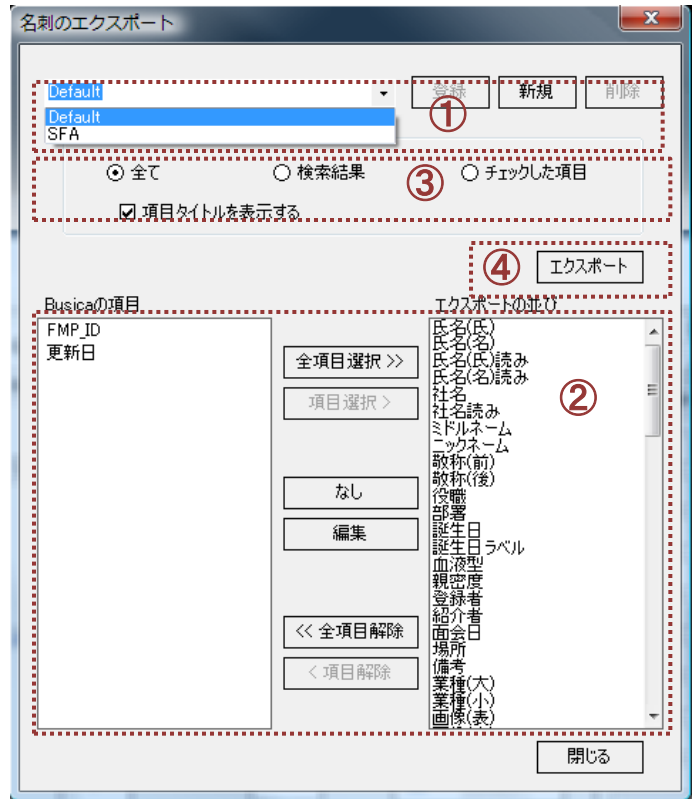
・上限の順序は項目名をドラッグする事で入れ替える事が出来ず。

・項目は中央のボタンで追加or削除する事が出来ます。

出力項目の指定が完了したら画面中断にある「エクスポート対象」より出力するレコードの対象を選択し③、最後に「エクスポート」ボタン④をクリックする事でcsvデータを出力出来ます。

【出力項目の説明】

- ・DefaultはBusica Porterのインポートの基本項目順と同じ並び
- ・SFAは時空社提供の「JiccoForce980」にインポートするレコードと同じ並びとなります。



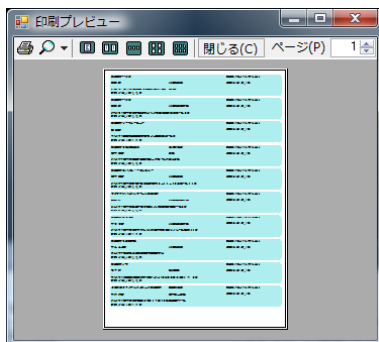
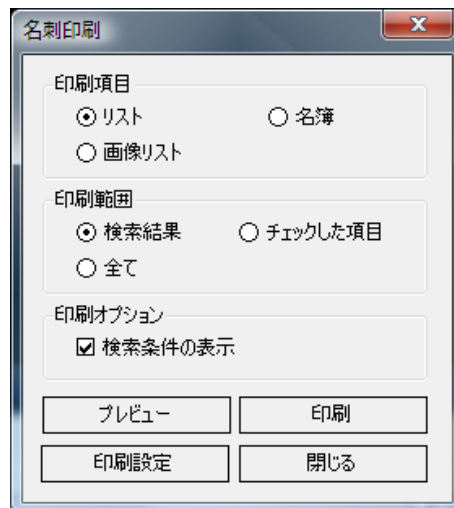
-11 名刺印刷

名刺一覧画面でチェック選択されたレコードに対し3種類の形式でプリントアウトが行えます。

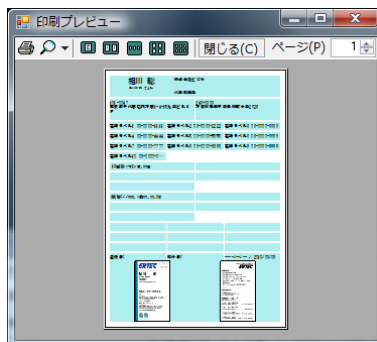
「リスト印刷」: 社名、役職、氏名、住所、電話、メール、URLの基本項目のみを1ページに9レコードずつ印刷します。

「名簿印刷」: 1ページに1人ずつされている全項目情報及び名刺画像両面を印刷します。

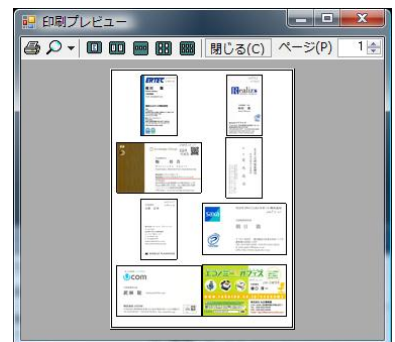
「画像リスト印刷」: 1ページに8枚ずつ名刺の表面のみ印刷します。



リスト印刷



名簿印刷



画像リスト印刷

(G) iPhoneとの連携

-1 データ同期

Busica Porter はWi-Fi無線通信でiPhoneアプリ「Busica for iPhone」とデータ同期する事が出来ます。メインメニュー内の「データ同期」より登録済み名刺情報の同期が行えます。同期にはPC、iPhone双方に準備が必要となりますので下記手順で操作をお願い致します。

【ご注意】

古いVer.のBusica Porter及びBusica for iPhoneをご利用の場合、それぞれに適合する組み合わせがございますのでご注意ください。

【適合表】

Busica for iPhone Ver1.0、1.1、1.2 に対応するのは
Busica Porter Ver1.0、1.1 となります。

Busica for iPhone Ver1.3に対応するのは
Busica Porter Ver1.2 となります。

【PC側準備】

(1) Busica Porterが稼働しているPCをWi-Fi無線LANのアクセスポイントがあるネットワーク環境に接続して下さい。

(2) 上記ネットワークに接続した際のPCのIPアドレスを確認して下さい。

【iPhone側準備】

(3) iPhone本体のWi-Fi通信設定をONにして下さい。またご使用のWi-Fi環境にセキュリティー(WEPなど)が設定されている場合はそちらも併せ設定を行って下さい。

(※) Wi-Fi通信のON/OFFの確認はiPhoneの「設定」項目内にあります。
(※) Wi-FiやWEPなど無線設定に関する問題などに関しては接続先のネットワーク管理者にお問い合わせ下さい。

(4) iPhoneの自動ロック機能(1分～5分)を設定している場合、通信途中でエラーになる場合がありますので、自動ロックは「しない」の設定に変更して下さい。
(※) 自動ロックの設定はiPhoneの「設定」内の「一般」項目内にあります。

(5) TOPメニュー内の「データ転送」ボタン内にある、名刺データ同期の設定画面でアカウント情報④と「Busica Porter」が稼働しているPCのIPアドレス③を登録して下さい。

【PC側同期待機】

(6) メインメニュー内の「データ同期」①ボタンをクリックすることで同期の待機ウインドウ②が表示されます。

【iPhone側同期の開始】

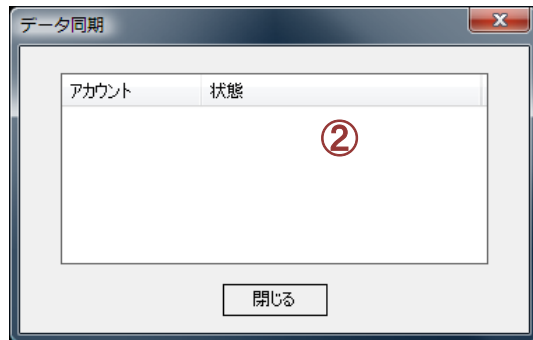
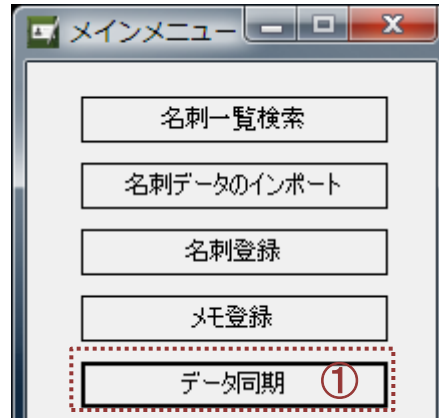
(7) 全ての準備が完了しましたら、iPhoneアプリ側の「同期開始」ボタンをタップして下さい。⑤
同期が開始されます。

PCのIPアドレスの確認方法

Windowsの「スタート」ボタンをクリックし「プログラム」「アクセサリ」の中にある「コマンドプロンプト」を実行して下さい。

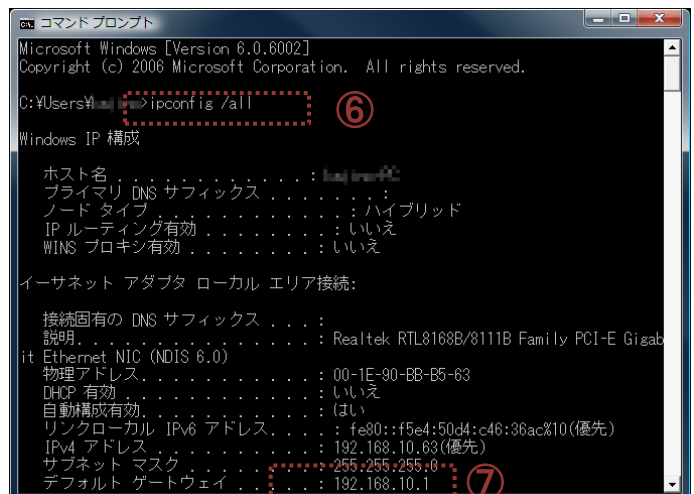
コマンドプロンプトの画面が表示されたら⑤

Ipconfig /all
と入力すると自分のPCのIPアドレス⑥が表示されます。



↑ PCのIPアドレスを入力

↑ Busica Porter で設定した
アカウントと同じ値を入力



2 同期中の画面と注意事項

iPhoneとPCの同期がはじまると双方の画面に「同期中」や心境状況を表す情報が表示されます。

※iPhone、PC双方とも同期画面にならない場合、どちらか一方もしくは双方の設定に誤りがある可能性があります。その際は今一度設定内容の再確認をお願い致します。

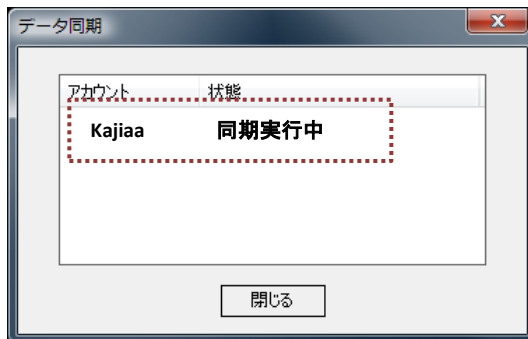
※PC側及びネットワーク環境にファイヤーウォール等のセキュリティ対策が施されていると正常に連携出来ない場合がございます。その場合は一時的にそれらのセキュリティ対策をOFFにするか、接続先のネットワーク管理者にご相談下さい。

※データの連携はPC側とiPhone側のデータを相互補完する形式をとります。

初回の同期は双方全レコードの同期を行い、2回目以降の同期では差分(更新、新規登録)のレコードのみ同期します。

※1000件を超える同期を行う場合、取り扱うデータの内容(名刺画像の容量など)により数時間連携に時間がかかる場合があります。予めご了承ください。

※連携の途中で通信エラー等になった場合は、再度通信をやり直してください。



3 同期中の完了

PC,iPhoneの画面とも同期完了のメッセージが表示されると同期の完了となります。

そのまま、「戻る」や「閉じる」ボタンより通常画面に戻る事が出来ます。

※連携が完了するとiPhone側で名刺の一覧を表示させるインデックスファイルも一度初期化されます。連携後、Busica for iPhoneで名刺一覧を表示する際、インデックスファイルの作成の為表示までに若干時間がかかる場合がありますのでご注意ください。

初回の同期

同期前の状態		同期後の状態	
PCデータ	iPhoneデータ	PCデータ	iPhoneデータ
Dさん	Aさん	Aさん	Aさん
Fさん	Bさん	Bさん	Bさん
Gさん	Cさん	Cさん	Cさん
	Eさん	Dさん	Dさん
		Eさん	Eさん
		Fさん	Fさん
		Gさん	Gさん

PC、iPhone双方のデータを全て連携します。

2回目以降の同期

同期前の状態		同期後の状態	
PCデータ	iPhoneデータ	PCデータ	iPhoneデータ
Aさん	Aさん	Aさん	Aさん
Bさん	Bさん	Bさん	Bさん
C'さん	Cさん	C'さん	C'さん
Dさん	Dさん	Dさん	Dさん
Eさん	Eさん	Eさん	Eさん
Fさん	Fさん	Fさん	Fさん
Gさん	Gさん	Gさん	Gさん
Iさん	Hさん	Hさん	Hさん
		Iさん	Iさん

前回同期以降に更新、追記した情報のみ連携します。

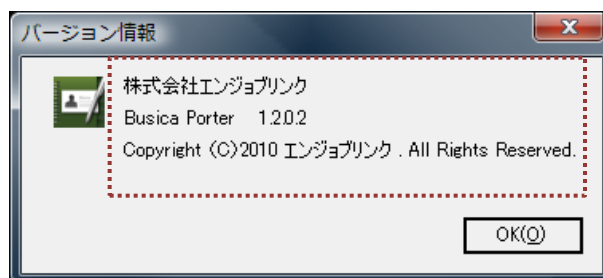
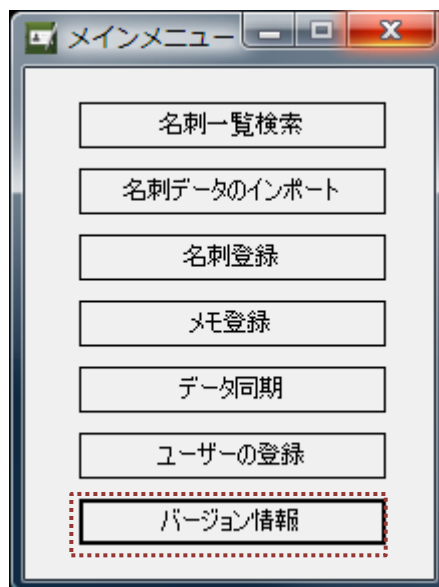
(H) バージョン情報の確認

-1 バージョン情報

Busica Porterに関するお問い合わせを頂く場合お使いのアプリケーションのバージョンをお伺いする事がございます。その際はTOPメニュー内の「バージョン情報」をクリック頂き、表示されるウインドウ内に表示される情報をお伝え下さい。

またBusica for iPhoneのアプリバージョンがアップを行った場合付随してBusica Porterのバージョンアップが必要になる場合がございます。

お使いのBusica for iPhoneに対応するBusica Porterのバージョンはサポートサイトにて順次紹介致しますので定期的にご確認お願い致します。



(I) アプリケーションのアンインストール

-1 アンインストール方法

WINDOWSの「スタート」ボタンをクリックし「プログラム」メニュー内にある「Enjoblink」フォルダ内の「Busica Porter」フォルダの中にある「Busica Porterの削除」を選択する事でアプリケーションのアンインストールプログラムを実行する事が出来ます。アンインストールプログラム実行後はアナウンスに従い削除を行って下さい。

※最後にDBを削除するかの選択が表示されます。DBとは名刺情報が保存されているレコードの保存先となります。名刺情報の削除を希望の場合はDBの削除も行って下さい。尚、バージョンアップ等によるアプリケーションの入れ替えを目的とする場合DBを消すと名刺情報を復旧する事が出来なくなりますのでご注意ください。

(J) 補足資料(インポートデータ活用)

-1 インポートデータの項目順

Busica Porterは既存の名刺管理ソフトや年賀状ソフト、Outlook等のアドレス情報より抽出されたcsv形式のファイルをインポートすることで既存ツールの情報を活用する事が出来ます。

その際、インポート画面で既存ツールのcsvファイルの項目並びを管理する事も出来ますが、下記の並び順にする事でインポートの際に並び変えをせずにcsvファイルを取り込む事が出来ます。

※サポートサイトに項目順のサンプルcsvをご用意しておりますのでご参照下さい。

氏名(姓)	備考	電話(1)	電子メール(1)
氏名(名)	業種大	電話(1)ラベル	電子メール(1)ラベル
氏名読み(姓)	業種小	電話(2)	電子メール(2)
氏名読み(名)	画像(表)	電話(2)ラベル	電子メール(2)ラベル
社名	画像(裏)	電話(3)	電子メール(3)
社名読み	住所(A)国	電話(3)ラベル	電子メール(3)ラベル
ミドルネーム	住所(A)〒	電話(4)	電子メール(4)
ニック	住所(A)都道府県	電話(4)ラベル	電子メール(4)ラベル
敬称前	住所(A)市町村	電話(5)	電子メール(5)
敬称後	住所(A)番地	電話(5)ラベル	電子メール(5)ラベル
役職	住所(A)ビル名等	電話(6)	URL(1)
所属	住所(A)ラベル	電話(6)ラベル	URL(1)ラベル
誕生日	住所(B)国	電話(7)	URL(2)
誕生日ラベル	住所(B)〒	電話(7)ラベル	URL(2)ラベル
血液型	住所(B)都道府県	電話(8)	URL(3)
親密度	住所(B)市町村	電話(8)ラベル	URL(3)ラベル
登録者	住所(B)番地	電話(9)	URL(4)
紹介者	住所(B)ビル名等	電話(9)ラベル	URL(4)ラベル
面会日	住所(B)ラベル	電話(10)	URL(5)
場所		電話(10)ラベル	URL(5)ラベル

-2 各項目の補足

※読み(ふりがな)の項目はひらがなで入力する事を推奨致します。

※誕生日を入力する場合はyyyy/mm/ddの形式で入力して下さい。

※血液型を入力する場合は「A」「B」「AB」「O」いずれかの値を入力して下さい。

※重要度を入力する場合は「最重要」「重要」「少し重要」「普通」「重要でない」いずれかの値を入力して下さい。

※csvインポートの際、名刺画像も同時に登録する場合は画像(表/裏)それぞれの項目に名刺画像が保存されているPC上の場所を絶対パスで入力して下さい。(例 C:\images¥***** など。*****はファイル名)

※ラベルは見出し名になります。電話のラベルなら「会社電話」「FAX」「携帯」のようにお好みのラベル名を指定出来ます。

-3 主な名刺管理ソフトや年賀状作成ソフトの活用方法

【メディアドライブ社/やさしく名刺ファイリングPRO をご利用の場合】

- ① OCRソフト&付属スキャナで名刺を電子化
- ② OCRソフトから名刺情報をCSV形式でエクスポート(名刺画像参照あり)
- ③ Busica PorterでCSVファイルをインポート(名刺画像も同時にインポート)
- ④ Busica Porterで利活用。
- ⑤ Busica for iPhoneと同期し、iPhoneでも利活用！

【その他スキャナ付属OCRソフトや年賀状アプリ、メーカーのアドレス帳をご利用の場合】

- ① スキャナ付属のOCRソフトで電子化(OCRソフト以外は①の工程は不要)
- ② OCRソフトから名刺情報をCSV形式でエクスポート(名刺情報だけ)
- ③ Busica PorterでCSVファイルをインポート(名刺情報だけ)
- ④ Busica Porterの検索一覧から画像の入っていない名刺を選択し編集画面を開く
- ⑤ 編集画面の画像項目からファイル参照でOCRソフトの画像フォルダ内の名刺画像を参照
- ⑥ Busica Porterで利活用。
- ⑦ Busica for iPhoneと同期し、iPhoneでも利活用！

※PFU社「名刺ファイリングOCR」をご利用の場合、該当アプリのDB上での画像保存形式がoldjpeg規格のTiffファイルを採用している為、Busica Porterに直接画像を参照取り込みすることが出来ません。申し訳ございませんが、名刺ファイリングOCRをご使用の場合は同管理画面上から画像を個別に保存して頂く必要がございます。

～ 特徴 ～
名刺画像も手軽にインポート！